



出前講座

どうして洪水がおきるのか



八戸市立多賀小学校1～6年生107名が受講しました。

4月26日(月)八戸市立多賀小学校で行われている防災教室の一環として、1年生から6年生までの107名に『どうして洪水がおきるのか』と題した出前講座を行いました。

講座では、講師の青森河川国道事務所調査第一課須田建設専門官から、雨がたくさん降ったらどうなりますか、川の水がいっぱいになったらどうなりますか、また、家のまわりが水でいっぱいになるとどうなる?その時みなさんはどうしますか?どこに逃げたらいいでしょうか?などと問いかけて、児童たちからは積極的な返答があり、その正解の多さに講師もびっくりでした。

また、テレビ局の取材もありましたが、インタビューにしっかりと答えていました。



多賀小学校(たがしょうがっこう)のみなさんは?

多賀小学校は、ハザードマップの色のついでるところです。
(50cm~3m:しんすいのおそれあります。)
小学校の2階よりうえの教室にひなんしましょう。

